



NS Solutions
NIPPON STEEL

2023年3月期上期 (2022年4月1日～2022年9月30日) 業績概況

2022年10月27日
日鉄ソリューションズ株式会社

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

社長の森田です。

本日はお忙しい中、上期決算説明会にご出席いただき、ありがとうございます。

本日15：00 に発表した、決算の内容についてご説明致します。

目次

I. 2023年3月期 上期実績

II. 2023年3月期 業績見通し

III. 中期事業方針の進捗

IV. サステナビリティ経営

本日の説明会のAgendaです。



I-1. 連結決算業績

単位：億円

	2022年3月期	2023年3月期	対前年		2023年3月期	対見通し	乖離率 G
	上期	上期	差異	増減率	上期見通し	差異	
	A	B	C	D	E	F	
売上収益	1,308	1,347	+39	+3%	1,440	-93	-6%
売上総利益	288	304	+17	+6%	310	-6	-2%
売上総利益率	<22.0%>	<22.6%>	<+0.6%>		<21.5%>	<+1.1%>	
販売費及び 一般管理費	148	165	+17	+11%	165	-0	-0%
その他損益	1	0	-1		0	+0	
営業利益	142	140	-2	-1%	145	-5	-3%
営業利益率	<10.8%>	<10.4%>	<-0.4%>		<10.1%>	<+0.3%>	
税引前利益	145	142	-3	-2%	148	-6	-4%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	95	94	-1	-1%	97	-3	-3%

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

4

2023年3月期上期業績についてご説明します、B、C、D欄をご覧ください。
連結売上収益1,347億円、対前年同期+39億円で+3%の増収となりました。

売上総利益は、
売上総利益率が対前年同期+0.6%改善し、22.6%、
増収効果とあわせ、対前年同期+17億円増益の304億円となりました。
販管費は、+17億円増の165億円となりました。
結果、営業利益はほぼ前年並みの140億円となりました。

対見通しについてご説明します。F欄をご覧ください。

売上収益は、93億円のマイナスとなりました。
公共公益で、官公庁向け大規模案件のプロダクト販売が、
下期に期ずれの影響が40億円ありました。詳細は後ほどご説明します。

売上総利益は、
売上総利益率が対見通しで+1.1%改善し、売上のマイナスを補った結果6億円のマイナス
です。
プロダクト販売の期ずれを考慮しますと、売上総利益は、ほぼ会社計画通りでした。
販管費は見通し通りです。

結果、営業利益は、見通しに対して5億円のマイナスとなりました。

I -2. 上期連結業績 | 四半期別

単位：億円

	2022年3月期			2023年3月期			対前年		
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	1Q 差異	2Q 差異	上期 差異
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
売上収益	655	653	1,308	651	696	1,347	-4	+43	+39
売上総利益	148	140	288	148	157	304	-1	+17	+17
売上総利益率	<22.6%>	<21.4%>	<22.0%>	<22.7%>	<22.5%>	<22.6%>	<+0.0%>	<+1.2%>	<+0.6%>
販売費及び 一般管理費	76	72	148	83	82	165	+7	+10	+17
その他損益	1	0	1	-0	0	0	-1	-0	-1
営業利益	74	68	142	65	75	140	-9	+7	-2
営業利益率	<11.2%>	<10.4%>	<10.8%>	<10.0%>	<10.8%>	<10.4%>	<-1.3%>	<+0.4%>	<-0.4%>
税引前利益	76	69	145	67	76	142	-10	+7	-3
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	48	47	95	44	50	94	-4	+3	-1

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

5

上期の四半期別の業績です。

第2四半期についてご説明いたします。E、H欄をご覧ください。
連結売上収益は696億円、対前年同期比+43億円となりました。

売上総利益は
売上総利益率が22.5%と、対前年同期+1.2%改善し、
増収効果とあわせ、対前年同期+17億円増益の157億円となりました。

販管費は、+10億円増の82億円となりました。

結果、営業利益は対前年同期+7億円の75億円となりました。

I-3. 上期サービス・顧客業種別売上収益

単位：億円

	2022年3月期		2023年3月期		対前年差異		2023年3月期 (見通し)		対予想差異	
	上期	内 ITインフラ	上期	内 ITインフラ	上期	内 ITインフラ	上期	内 ITインフラ	上期	内 ITインフラ
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
業務ソリューション	718	204	718	161	+0	-43	795	205	-77	-44
産業・流通・サービス	365	117	390	104	+25	-13	390	125	-0	-21
金融	192	56	164	41	-28	-15	175	55	-11	-14
公共公益他	161	31	164	16	+3	-15	230	25	-66	-9
サービスソリューション	437		462		+25		475		-13	
ITインフラ	171	<204>	184	<161>	+13	<-43>	195	<205>	-11	<-44>
鉄鋼	267		278		+11		280		-2	
子会社等	153		167		+14		170		-3	
合計	1,308		1,347		+39		1,440		-93	
(参考) 日本製鉄向け	(266)		(277)		(+11)		(275)		(+2)	

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

6

続いて、売上収益を、サービス・顧客業種別にご説明いたします。C欄、E欄をご覧ください。

対前年では、

業務ソリューションは、718億円で、前年並みとなりました。内訳は、

- ・産業・流通・サービスは、プラットフォーム向けが好調で
+25億円の増収となりました。
- ・金融は、昨年度の規制対応案件やプロダクト販売の反動減により、
-28億円の減収となりました。
- ・公共公益他は、昨年度の上期は案件が集中し、今期はその反動減があったものの、
官公庁向け大型案件により+3億円の増収となりました。

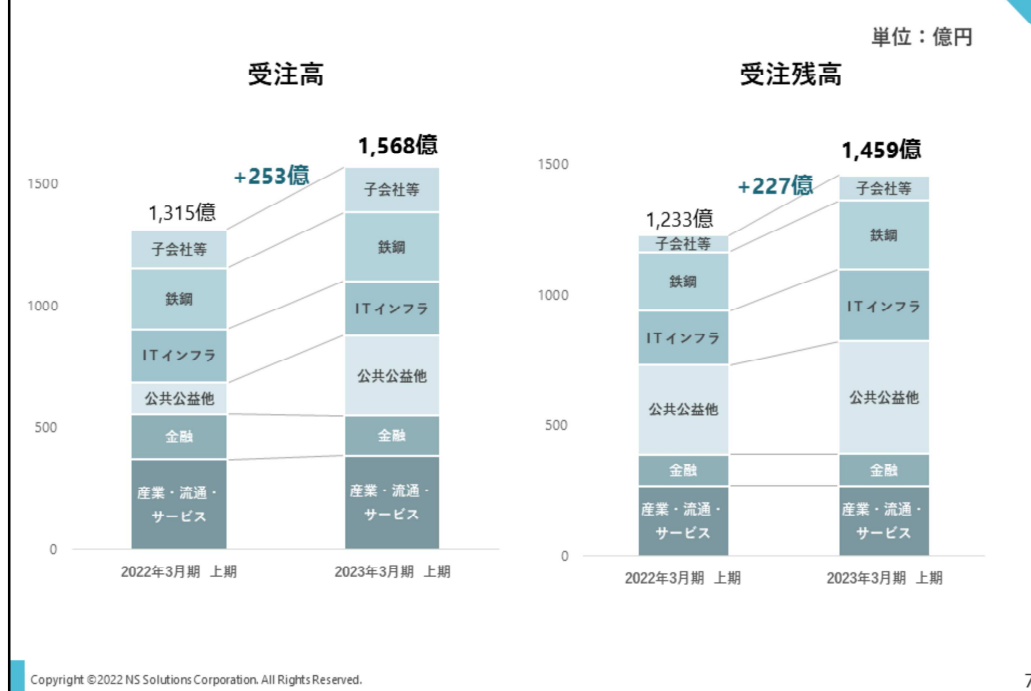
サービスソリューションは、462億円で、+25億円の増収です。内訳は、

- ・ITインフラは+13億円、
- ・鉄鋼は、+11億円の増収となりました。

対見通しは、I欄をご覧ください。

- ・産業・流通サービスでは、プロダクト販売が積み上がらなかったものの、
システム開発が好調で、見通し通りの着地となりました。
- ・金融は、プロダクト販売が積みあがらず-11億円、
- ・公共公益他で、官公庁向け大型案件が、下期に期ズレした影響40億円があり-66億円、
- ・ITインフラも、プロダクト販売が積みあがらず-11億円
- ・鉄鋼と子会社は、ほぼ会社見通し通りです。

I-4. 受注高・受注残高



続いて、受注高・受注残高を、サービス・顧客業種別にご説明いたします。

受注高は、1568億円で、+253億円の増です。内訳は、

- ・産業・流通・サービスは、+13億円の増となりました。
プラットフォーム向けが好調に推移しました。
- ・金融は、プロダクト及び規制対応案件の反動減で、-21億円の減となりました。
- ・公共公益他は、
官公庁向けの大型案件の受注で +200億円の増となりました。
- ・ITインフラは、クラウドソリューションなどで+8億円の増となりました。
- ・鉄鋼は、+29億円の増です。

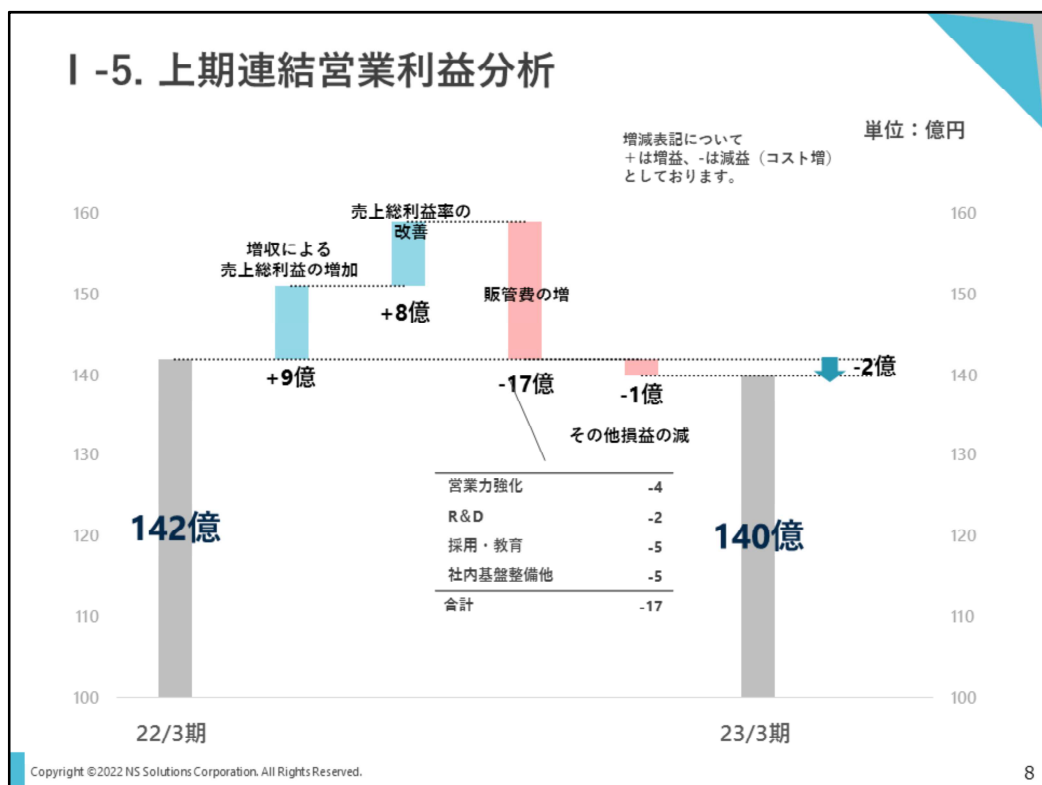
受注残高は、1459億円で、+227億円の増です。

内訳は、

- ・産業・流通・サービス、及び金融は、ほぼ横ばいです。
- ・公共公益他は、官公庁向け大型案件の受注が寄与して+90億円の増、
- ・ITインフラは、+68億円の増、
- ・鉄鋼は、+36億円の増です。

上期末受注残のうちから、下期の売上収益の6割を売り上げる見通しです。

下期受注・下期売上は前年同水準の見通しです。



連結営業利益の対前年度分析を、ご説明いたします。

売上総利益は、
 増収による売上総利益額の増が+9億円、
 売上総利益率は、昨年度に高利益率だった金融規制対応案件の反動減があったものの、
 付加価値重視のオペレーションや案件構成影響等があり、+0.6%改善し、+8億円。
 この結果、売上総利益は+17億円です。

販管費は、
 DX加速投資、事業基盤強化投資などで+17億円の増です。
 内訳は、
 営業力強化で+4億円、研究開発費で+2億円、
 採用・教育で+5億円、社内基盤整備他で+5億円です。

これに、その他損益等の減-1億円があり、
 これらの結果、営業利益はほぼ前年並みの140億円です。



次に、2023年3月期の業績見通しをご説明いたします。

II - 1. 経営環境及びサービス・顧客業種別市場認識

経営環境	IT投資を含め持ち直しが期待されるものの 海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクなどに注視が必要	
サービス・顧客業種別市場認識	産業・流通・サービス	プラットフォーム（ネットサービス、EC）のサービス強化のIT投資が活発
	金融	金融機関自身のDXによる新たなビジネスモデル確立、異業種による金融サービス提供の加速
	公共公益他	行政サービスや社会のデジタル化の進展によるITニーズの高まり
	ITインフラ	クラウドソリューションニーズが引き続き高く、デジタル、セキュリティ領域が活況
	鉄鋼	日本製鉄グループのDX投資は引き続き堅調

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

10

経営環境及びサービス顧客業種別の市場認識です。

経営環境は、IT投資を含め持ち直しが期待されるものの
海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクなどに注視が必要と考えております。

サービス・顧客業種別には、
産業・流通・サービスは、プラットフォーム（ネットサービス、EC）の
サービス強化のIT投資が活発です。

金融は、金融機関自身のDXによる新たなビジネスモデル確立、異業種による金融サービス提供
の加速を期待しています。

公共公益他は、行政サービスや社会のデジタル化の進展によるITニーズが高まっています。

ITインフラは、クラウドソリューションニーズが引き続き強く、
また、デジタル、セキュリティ領域が活況です。

鉄鋼は、日本製鉄グループのDX対応は引き続き堅調です。

II-2-①. 連結業績 見通し | 上下別 (対前年度)

単位：億円

	2022年3月期			2023年3月期			対前年差異		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
売上収益	1,308	1,395	2,703	1,347	1,553	2,900	+39	+158	+197
売上総利益	288	317	604	304	346	650	+17	+29	+46
売上総利益率	<22.0%>	<22.7%>	<22.4%>	<22.6%>	<22.2%>	<22.4%>	<+0.6%>	<-0.4%>	<+0.1%>
販売費及び 一般管理費	148	152	300	165	175	340	+17	+23	+40
その他損益	1	-7	-5	0	-0	0	-1	+7	+5
営業利益	142	157	299	140	170	310	-2	+13	+11
営業利益率	<10.8%>	<11.3%>	<11.1%>	<10.4%>	<10.9%>	<10.7%>	<-0.4%>	<-0.3%>	<-0.4%>
税引前利益	145	162	307	142	173	315	-3	+11	+8
親会社の所有者に 帰属する当期利益	95	111	205	94	117	211	-1	+6	+6

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

11

次に、年度の業績見通しについてです。
 上期は、これまでご説明した通りです。

下期については E、H欄をご覧ください。

売上収益は1,553億円と、対前年で+158億円の増、

売上総利益は+29億円増の346億円、

売上総利益率は、対前年-0.4%です。

但し、昨年度下期の一過性のコスト減と、

官公庁向け大規模案件影響を除くと対前年比+0.7%です。

上期同様に付加価値重視のオペレーションなどを通じて収益力を向上させてまいります。

販管費は+23億円増の175億円、

その他損益の改善が+7億円、

営業利益は+13億円増の170億円といたします

年度は、F欄、I欄をご覧ください。

売上収益は、2,900億円と、対前年で197億円の増、

売上総利益は+46億円増の650億円、売上総利益率は対前年+0.1%です。

営業利益は、+11億円増の310億円です。

II-2-②. 連結業績見通し | 上下別 (対前回見通し)

単位：億円

	2023年3月期 (前回見通し)			2023年3月期修正見通し			対見通し差異		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
売上収益	1,440	1,510	2,950	1,347	1,553	2,900	-93	+43	-50
売上総利益	310	340	650	304	346	650	-6	+6	-
売上総利益率	<21.5%>	<22.5%>	<22.0%>	<22.6%>	<22.2%>	<22.4%>	<+1.1%>	<-0.3%>	<+0.4%>
販売費及び 一般管理費	165	175	340	165	175	340	-0	+0	-
その他損益	0	0	0	0	-0	0	+0	-0	-
営業利益	145	165	310	140	170	310	-5	+5	-
営業利益率	<10.1%>	<10.9%>	<10.5%>	<10.4%>	<10.9%>	<10.7%>	<+0.3%>	<+0.0%>	<+0.2%>
税引前利益	148	167	315	142	173	315	-6	+6	-
親会社の所有者に帰属 する当期利益	97	114	211	94	117	211	-3	+3	-

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

12

次に、年度の業績見通しについて、対前回見通しでご説明します。

上期は、これまでご説明した通りです。

下期については、E、H欄をご覧ください。

売上収益は1553億円と、+43億円の増。

公共公益で官公庁向け大規模案件が下期に期ずれた影響40億円が太宗です。

売上総利益は+6億円増の346億円、

売上総利益率は、-0.3%です。

但し、官公庁向け大規模案件を除くと+0.1%です。

販管費は変更ございません。

営業利益は+5億円増の170億円といたします。

年度については、F欄、I欄をご覧ください。

売上収益は、2900億円と、-50億円の減、

売上総利益は横ばいの650億円

売上総利益率は+0.4%です。

販管費は変更ございません。

営業利益は前回見通しから変更なく310億円といたします。

II -3. 2023年3月期下期 サービス・顧客業種別売上収益

単位：億円

	2022年3月期		2023年3月期 (修正見通し)		対前年		2023年3月期 (前回見通し)		対見通し	
	下期	内 ITインフラ	下期	内 ITインフラ	下期	内 ITインフラ	下期	内 ITインフラ	下期	内 ITインフラ
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
業務ソリューション	738	170	872	169	+134	-0	815	170	+57	-1
産業・流通・サービス	398	107	435	101	+38	-5	435	100	+0	+1
金融	158	41	161	44	+3	+3	160	45	+1	-1
公共公益他	183	22	276	24	+93	+2	220	25	+56	-1
サービスソリューション	462		478		+16		490		-12	
ITインフラ	181	<170>	186	<169>	+5	<-0>	200	<170>	-14	<-1>
鉄鋼	281		292		+11		290		+2	
子会社等	195		203		+8		205		-2	
合計	1,395		1,553		+158		1,510		+43	
(参考) 日本製鉄向け	286		283		-4		285		-2	

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

13

下期の売上収益見通しを、サービス・顧客業種別対前年でご説明します。
C欄、E欄をご覧ください。

業務ソリューションは、872億円で、+134億円です。

- ・産業・流通・サービスは、プラットフォームなどのIT投資が活発で、+38億円です。
- ・金融は、+3億円、
- ・公共公益他は、上期に落札した官公庁案件等により、+93億円です。

サービスソリューションは、478億円で+16億円です。

- ・ITインフラはデジタルワークスペースソリューション等により、+5億円。
- ・鉄鋼は、日本製鉄のDX対応や日本製鉄グループ会社向けの増により+11億円。

日本製鉄向けは283億円で-4億円です。

子会社等は+8億円です。

対前回見通しをご説明します。I欄をご覧ください。

産業・流通サービス、金融は、ほぼ期初想定通りです。

公共公益他は大規模案件のプロダクト販売の下期への期ズレ40億円などがあり、+56億円

ITインフラは、プロダクト販売のマイナスを織り込み-14億円です。

鉄鋼、子会社はほぼ期初想定通りです。

II -4. 2023年3月期 サービス・顧客業種別売上収益

単位：億円

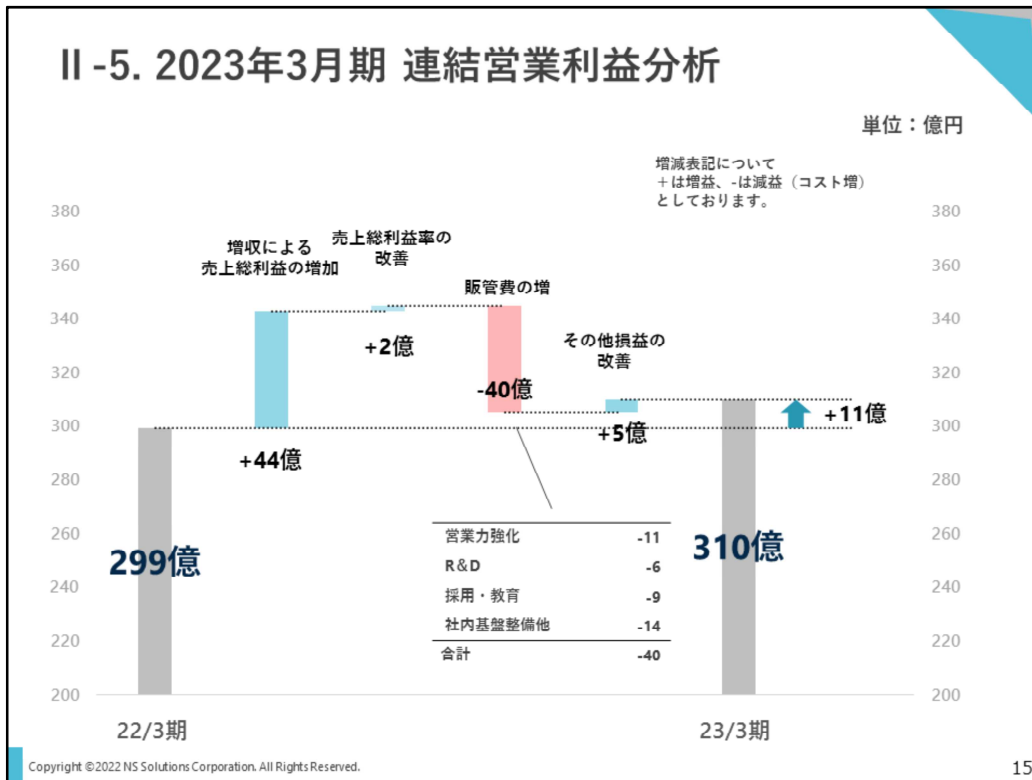
	2022年3月期		2023年3月期 (修正見通し)		対前年比		2023年3月期 (前回見通し)		対見通し	
	年度	内 ITインフラ	年度	内 ITインフラ	年度	内 ITインフラ	年度	内 ITインフラ	年度	内 ITインフラ
業務ソリューション	1,456	374	1,590	330	+134	-44	1,610	375	-20	-45
産業・流通・サービス	762	223	825	205	+63	-18	825	225	-	-20
金融	350	98	325	85	-25	-13	335	100	-10	-15
公共公益他	344	53	440	40	+96	-13	450	50	-10	-10
サービスソリューション	899		940		+41		965		-25	
ITインフラ	352	<374>	370	<330>	+18	<-44>	395	<375>	-25	<-45>
鉄鋼	547		570		+23		570		-	
子会社等	348		370		+22		375		-5	
合計	2,703		2,900		+197		2,950		-50	
(参考) 日本製鉄向け	553		560		+7		560		-	

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

14

今年度のサービス・顧客業種別の売上収益です。

内容は、上期、下期でご説明した通りです。



連結営業利益の対前年度分析を、ご説明いたします。

売上総利益は、
 増収による売上総利益額の増が+44億円、
 売上総利益率が0.1%改善し+2億円、
 なお、昨年度下期の一過性のコスト減と官公庁の大型案件の影響を除くと、
 +0.7%の改善です。
 この結果、売上総利益は+46億円となります。

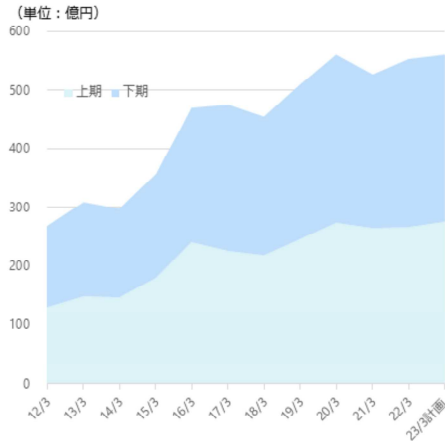
販管費は、
 DX加速投資、事業基盤強化投資などで+40億円の増です。
 内訳は、
 営業力強化で+11億円、研究開発費で+6億円、
 採用・教育で+9億円、社内基盤整備他で+14億円です。

これに、その他損益の改善+5億円があり、

これらの結果、営業利益は対前年度+11億円の増益で、310億円です。

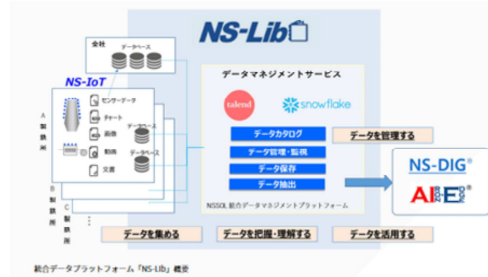
II -6 . 日本製鉄対応

1. 日本製鉄向け売上収益の推移



Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

2. 取り組み内容



日本製鉄向け売上収益見通し
(2023年3月期見通し)

FY2021	FY2022	増加額
553億円	560億円	+7億円

日本製鉄対応をご説明いたします。

左のグラフは日本製鉄向け売上収益の推移です。

日本製鉄では、2021年3月に発表した中長期経営計画の柱の一つとしてデジタルトランスフォーメーション戦略の推進を掲げました。

当社は、このDX推進の中核として、その対応を着実に進めております。

取り組みの一例としては、

日本製鉄の統合データプラットフォーム (NS-Lib)を構築しました。

AI/IoTを含めた様々なデータの収集・蓄積、全社のデータ利活用を通してデータドリブン経営の実現をサポートしてまいります。

2023年3月期の売上収益は、前年の553億円から+7億円増の、560億円を見込んでおります。

II-7. 配当方針

当社は将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。利益配分につきましては、株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当及び事業成長に備えた内部留保を確保することを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向30%を目安といたします。

1 株当たり年間配当金の計画

2023年3月期（年度）

70円

中間配当：35円、期末配当：35円（予定）

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

17

配当方針をご説明いたします。

配当につきましては、

連結業績に応じた利益還元を重視し、連結配当性向30%を目安としております。

上期の業績と年度の見通しを踏まえ、

年間配当金予定額を70円といたします。

中間で、35円を配当いたします。

期末配当は、35円を予定いたします。



次に、中期事業方針の進捗についてご説明させていただきます。

III-1. 成長に向けた施策

項目	主な内容
事業基盤強化投資	<ul style="list-style-type: none">・ IT環境整備・ absonne等への投資
DX加速投資	<ul style="list-style-type: none">・ DX人材の集中的な育成・ 新規ソリューション開発 「FINARCH」：金融機関向けクラウド活用最適化サービス
M&A等の投融資	<ul style="list-style-type: none">・ 高度な数理AI技術を持つArithmer社へ出資・ データ利活用における知見・技術を有する エスタイル社に出資
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 業務プロセスのデジタル化に強みを持つPega社と 戦略的パートナーシップを締結・ 成長投資の資金確保に向けた政策保有株式売却：20億円

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

19

事業基盤強化投資、DX加速投資についてご説明いたします。

事業基盤強化投資では、IT環境整備、absonne等への投資を行っております。

DX加速投資では、DX人材の集中的な育成、新規ソリューション開発を行っております。

M&A等の投融資では、

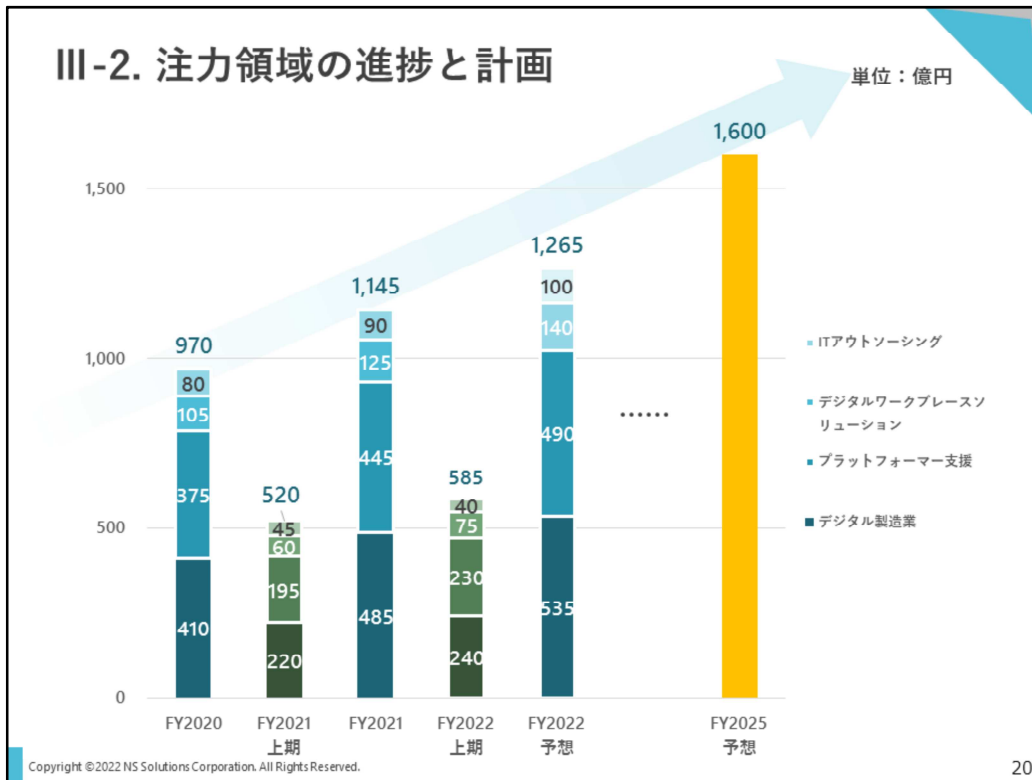
- ・4月、高度な数理AI技術を持つArithmer社へ出資をいたしました。
- ・9月には、データ利活用における知見・技術を有するエスタイル社に出資しました。

当社では、DXニーズへの対応力を強化するとともに、
AIソリューション・サービスの開発促進をはかってまいります。

その他、

業務プロセスのデジタル化に強みを持つPega社と戦略的パートナーシップを締結しました。

また、DX加速投資や、M&A等の成長投資資金を確保するために、
4月に開示した売却方針（予定額200億円/売却時期2022年度～2025年度）
に沿って、政策保有株式を20億円売却しました。



注力領域の進捗です。

2022年度上期の注力領域の売上収益は585億円で、
2021年度上期の520億円から対前年12.5%と、計画を上回るペースで
伸ばす事ができました。

デジタル製造業、プラットフォーム支援、デジタルワークスペースソリューションで大きく伸ばす事ができました。

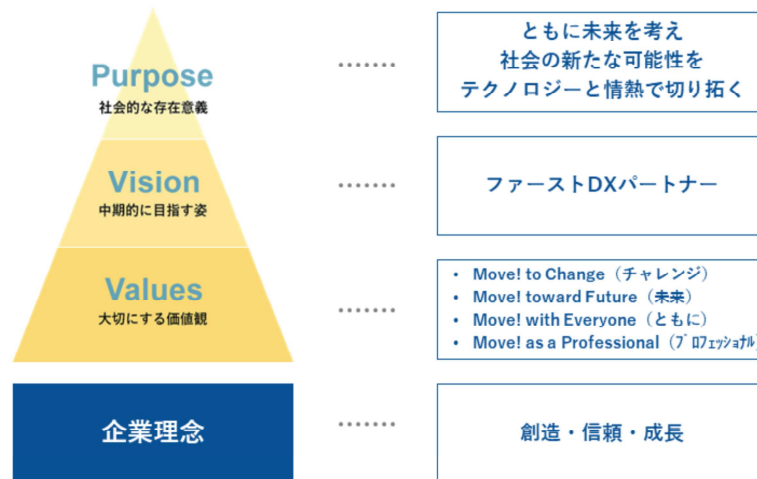
2022年度の注力領域の売上収益は、1,265億円を見込んでおります。



最後に当社のサステナビリティ経営についてご説明させていただきます。

IV-1. サステナビリティ経営について

◆ パーパス・バリューを含めた理念体系を再整理



Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

22

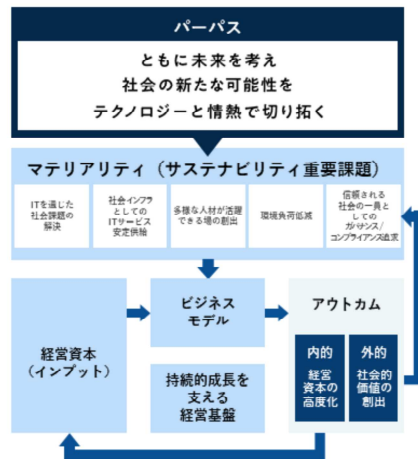
最後に、当社のサステナビリティ経営について、ご説明します。

当社は本年4月、
新たに、社会的な存在意義としてのパーパスを定め、
理念体系全体（パーパス・ビジョン・バリュー）を再整理しました。

上から順に、パーパス、ビジョン、バリューと、その基礎になる企業理念です。

IV-2. サステナビリティ経営について

- ◆ パーパスを起点とした価値創造プロセス



- ◆ 統合報告書発行予定



- ◆ 環境

本社オフィスのグリーン電力化

- ◆ 社会

人権方針の策定

Copyright ©2022 NIS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

23

サステナビリティ経営の実践にあたり、
パーパスを起点とした「価値創造プロセス」を整理し、
5つのマテリアリティ（サステナビリティ重要課題）を定めました。

10月31日に、当社のサステナビリティ経営についてまとめた統合報告書を
発行予定です。詳しくは、当社ホームページをご参照ください。

また、その具体的な実践として、この上期には、

環境の取組みについては、再生可能エネルギーの利用を促進をすべく、オフィスの電力を
グリーン電力に切り替えております。

社会の取組みについては、人権方針を策定いたしました。

私からの説明は、以上となります。

主要ニュース・プレスリリース

2022年4月1日	TCFD「気候関連財務情報開示タスクフォース」への賛同に関するお知らせ
2022年4月5日	食品業界の需給計画業務DXを支援するクラウドサービス「PPPlan/ビービープラン」を2022年9月末から提供開始 ～サブスク型サービスによりシステム導入費用・工数を削減～
2022年4月6日	「Citrix Japan Partner Award 2021」受賞
2022年4月7日	特例子会社Act.の農福連携事業に「安全見守りくん」導入 ～障がいを持つ方の見守りをIoTで支援、誰もが活き活きと働ける社会へ～
2022年4月13日	電子契約サービス「CONTRACTHUB@absonne」が、グレーゾーン解消制度により、建設業法における適法性を確認
2022年4月15日	「Box」エコシステムソリューションとしてワークフローシステム「AgileWorks」との「高機能ワークフロー連携機能」を提供開始
2022年4月19日	【富士キメラ総研調べ】国内DaaS市場で仮想デスクトップサービス「M³DaaS」が9年連続シェア1位を獲得 ～快速でセキュアな業務環境を実現するデジタルワークプレースへのシフトを推進～
2022年4月22日	「東京レインボープライド2022」に協賛

主要ニュース・プレスリリース

2022年4月25日	高知県北川村より企業版ふるさと納税寄附への感謝状を受贈 ～地方創生に向け、IT人材育成を支援～
2022年4月26日	NSSOLとArithmerが資本業務提携契約を締結 ～DX・AI領域での協業を開始～
2022年4月27日	日本製鉄グループ、無線IoTセンサ活用プラットフォーム「NS-IoT」を構築 製鉄所のセンサデータを一元管理し、統合ビッグデータによる異常検知・トレンド監視を実現
2022年4月28日	顧客とのイノベーション共創を実現する場「0→1Design Lab/ゼロイチデザインラボ」を4月28日グランドオープン
2022年4月28日	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
2022年4月28日	NSSOLが目指す社会的な存在意義として、Purposeを制定 「ともに未来を考え 社会の新たな可能性を テクノロジーと情熱で切り拓く」
2022年5月19日	(株式会社ネットワークバリューコンポネッツ) NVC、シーメンス社、AGEST社、他と協業する、工場のサイバーセキュリティソリューションにNozomi Networks Guardianとマネージドセキュリティサービスを提供開始
2022年5月30日	日本製鉄、NSSOLとともに統合データプラットフォーム「NS-Lib」を構築 ～全社のデータを集約、カタログ化し、データドリブン経営を目指す～
2022年6月15日	ZLテクノロジーズと販売代理店契約を締結 ～ガバナンス強化や改正電子帳簿保存法への対応を支援～

主要ニュース・プレスリリース

2022年6月24日	グローバルに進む金融業界のDXに対応する新サービス提供に向け、大手地方銀行4行、スイフト・ジャパン株式会社とともにPoCを実施 ～SWIFTが提供するAPIを活用し、送金・被仕向送金業務の自動化目指す～
2022年6月29日	ICTインフラの最大10年間保守により企業のICT事業推進への貢献を目指す ～NSSOL、アラクサラ、サイバートラストの3社協業～
2022年6月30日	日鉄ソリューションズ、Pegasystems Inc.と戦略的パートナーシップを締結 ～日本語でのPega標準サポートなどを提供～
2022年7月1日	日鉄ソリューションズとトーマツ、ゼロボードが協業し、金融機関投融資先の温室効果ガス排出量算定支援に向けた共同検討を開始 ～PCAFスタンダードに基づく排出量の算定と開示を支援するソリューション開発～
2022年7月4日	下関市のまちづくりや地域課題の解決、人材育成に関する包括連携協定を締結
2022年7月5日	仮想デスクトップ上で快適なWeb会議の実施が可能になるテレワーク用シンクライアントの提供を開始
2022年7月8日	日鉄ソリューションズ、Google Cloud™導入支援開始
2022年7月14日	金融機関向けクラウド活用最適化サービス「FINARCH（フィナーチ）」を提供開始 ～最短3か月でセキュリティやガバナンスを維持したクラウド環境を実現～
2022年7月21日	「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」に加え、新たに「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に選定

主要ニュース・プレスリリース

2022年8月4日	国内初、ローカル5Gを用いたセンサー機器無線接続の実証に成功 ～北海道電力による低コスト広域無線計装ネットワークの実現に向けた接続実証試験を、HOTnet、エマソン、NSSOLの3社が支援～
2022年8月22日	MIND ID Trading Pte. Ltd.にコモディティ取引・リスク管理システム「Ratispherd」を導入 ～東南アジアでの金属資源のトレーディング事業を支援～
2022年8月31日	日本製鉄とNSSOLがリアルな製鉄現場を疑似体験できる子ども向けプログラミング学習コンテンツ「鉄をつくる順番を考えよう!」を共同開発
2022年9月6日	豊田スチールセンターの製造現場DX目指し、天井クレーン遠隔運転実現に向けたローカル5G導入を支援
2022年9月13日	トヨタ自動車が提供する港湾物流業務のDXを目指す実証実験を支援 ～サービスデザイン・リモートアジャイル開発手法で海上コンテナの陸上輸送における課題解決を目指す～
2022年9月15日	NSSOL、若年層向け金融リテラシー向上に関する取り組みを開始
2022年10月5日	キャリア不安の解消をエンゲージメント向上につなげるキャリアリフレクションツール「なやさぼ」リリース ～従業員の不安を可視化、データに基づく人事DXの実現を目指す～



ともに未来を考え
社会の新たな可能性を
テクノロジーと情熱で切り拓く

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。

Copyright ©2022 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.